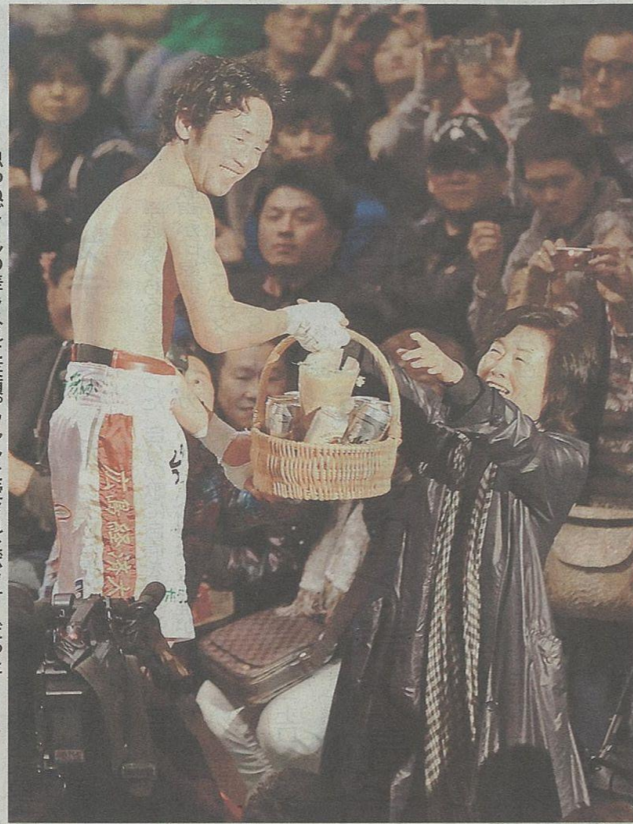




リング上で連打の嵐。元日本王者の実力を見せつけた

一片の悔いなし

中広大悟選手 ボクシング日本スーパーフライ級元王者 万感の引退試合



思わぬビールの差し入れに笑顔。ファンに愛されたボクサーだった



笑顔のあいさつだったが、目には時折涙が浮かんだ



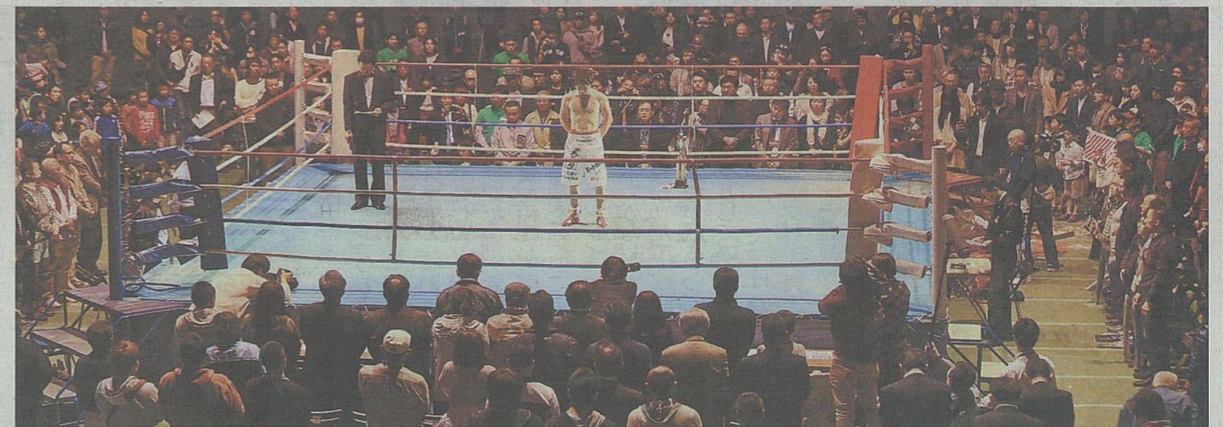
入念に体をケアする新谷会長(左端)たちスタッフに、中広選手は「ありがとう」と伝えリングに立った

「お疲れさま」「ありがとう」「広島を誇りだ」。ボクシングの日本スーパーフライ級元王者の中広大悟選手(32)と広島三栄IIが13日、広島グリーンアリーナで現役最後のリングに立ち、通算30戦目を2回TKO勝ちで締めくくった。

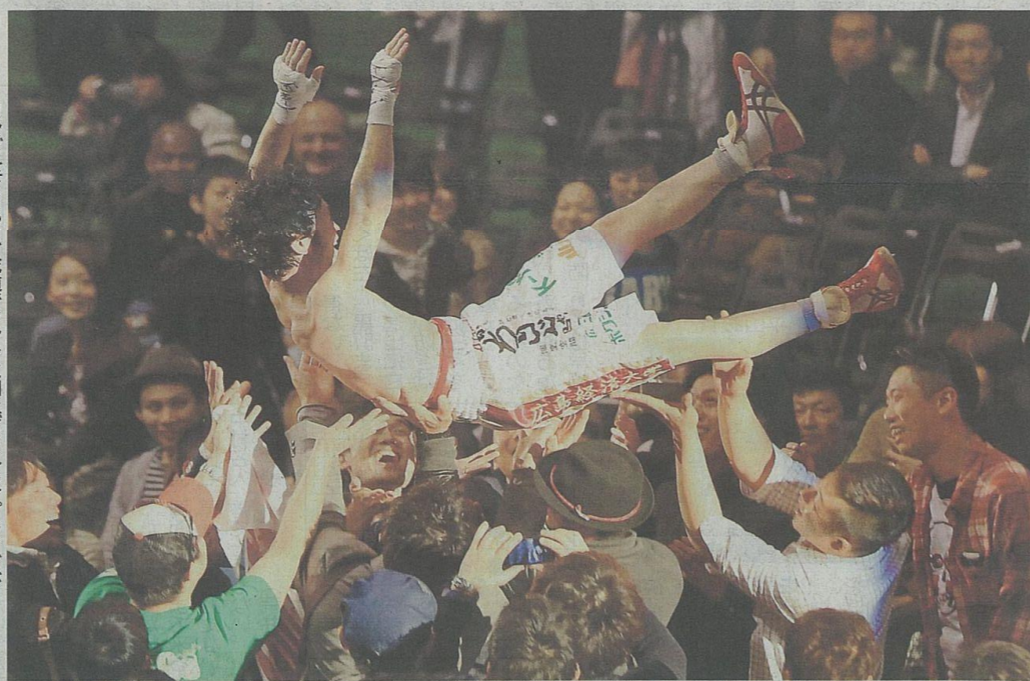
約1500人の大声援に包まれながらリングイン。新谷彪会長(73)らがセコンドで見守る中、序盤からの確にパンチを打ち込み、2回に連打を浴びせ右ストレートで勝負を決めた。試合後には「ボクシングに一片の悔いもない。皆さんのおかげです」とあいさつ。「一番努力をかけた」と支え続けた妻純子さん(34)への拍手を促し、惜しまれながらリングを後にした。

中広選手が勤務する病院の利用者や職員と応援に駆け付けた看護師岩井智美さん(69)は「院内でも明るく、みんな元気をもらっている。引退は寂しいが、ありがとうと言いたい」と声援を送っていた。

(写真・山崎亮文・藤田龍治)



引退セレモニーでテンカウントのゴングが響き渡る。観客も総立ちで聞き入った



リングを下りると、花道でファンに胸上げられるサプライズが

中広大悟ラスト飾る!

平成26年4月13日